

メイスイ浄水器 日本水道協会認証品 元止水栓用:Ⅱ形 Ge・1Z-FY3 工事業者様用 工事説明書

工事をされる方へのお願い

- この工事説明書は、工事専門業者様が正しく安全な工事をするために必要なものです。記載されている事項を守らず、万一事故が生じた場合は責任を負いかねますので、工事開始時には必ずお読みください。
- 工事前に、全ての部品が揃っていること、各部品に異常がないことを必ずお確かめください。

安全上のご注意 ここに示した事項は△警告△注意に区分しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

△注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています(下記は、絵表示の一例です)。

	この表示は必ずお守りいただく「強制」内容です。		この表示はしてはけない「禁止」内容です。		この表示は気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
--	-------------------------	--	----------------------	--	-----------------------------

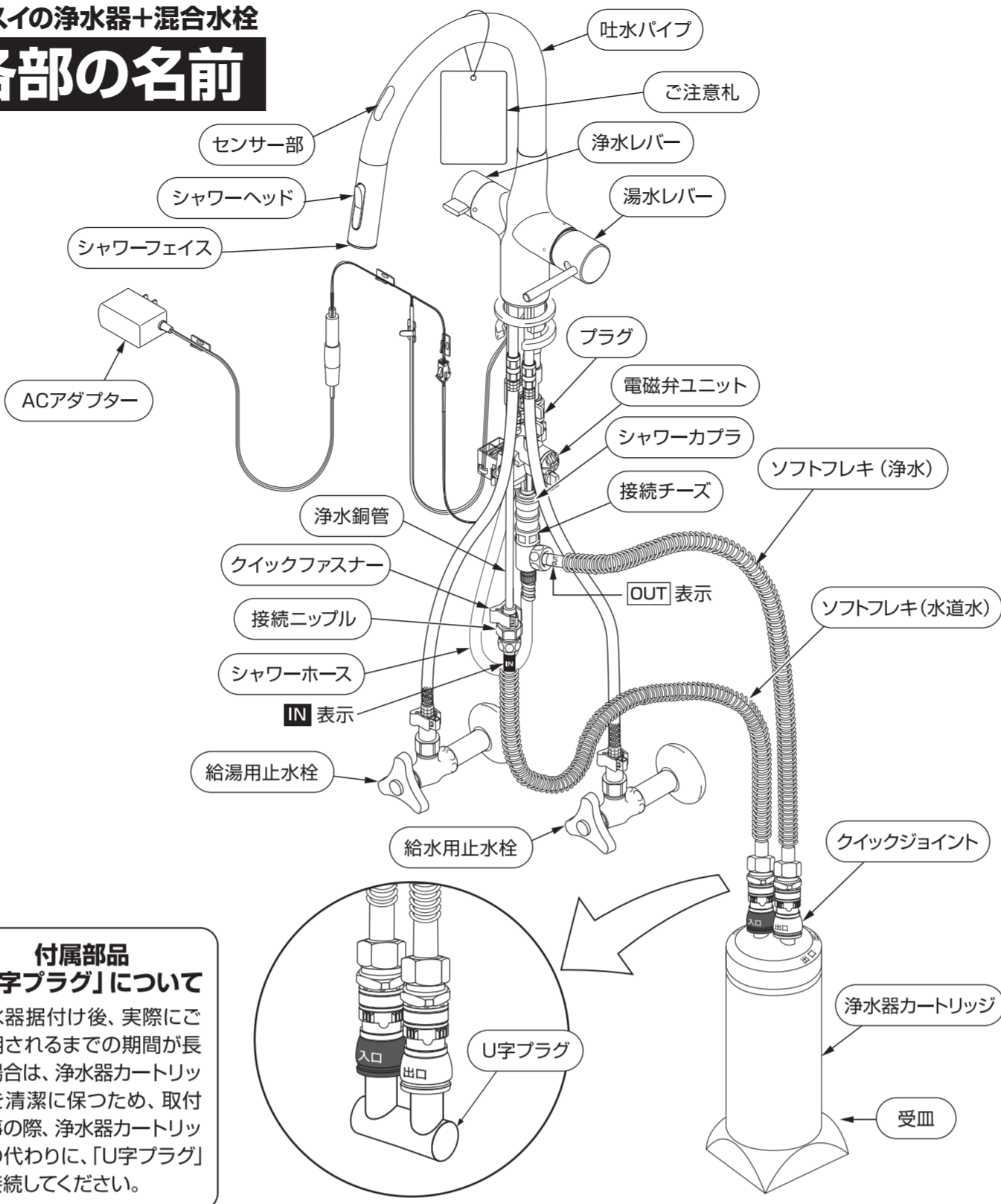
警告

- 水道水にのみお使いください。浄水器には殺菌作用がありません。水道水以外の水に病原菌が混入していれば、それが原因で健康障害を生じるおそれがあります。
- 取付工事は、工事専門業者様がこの工事説明書にしたがって実施してください。取付工事に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認してください。
- 給湯温度は80℃より高温で使用しないでください。80℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、漏水で家財などをめらすおそれがあります。
- がたついているコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 指定する電源(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 雷が発生しているときは、ACアダプターに触れないでください。感電の原因になります。
- ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側止水栓が熱くないことを確認してください。高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などをめらすおそれがあります。
- ACアダプターは根元まで確実に差込んでください。火災や感電の原因になります。
- 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどのおそれがありますので、やけどのおそれがないところまで水圧変動をおさえたい配管設備にしてください。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理改造しないでください。火災・感電・水漏れやケガの原因になります。
- 水漏れのときは周囲の電気製品・設備の漏電・感電のおそれがあります。
- 配管などの解体のため解体機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などをめらすおそれがあります。
- 電磁弁ユニットや配線接続部、ACアダプターには水をかけないでください。火災や感電の原因になります。
- コードにはねじる、曲げる、引張る、物を乗せる、挟む、加熱するなどの負荷をかけるしないでください。感電・ショート・火災の原因になります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。故障や感電のおそれがあります。
- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」(内線規定)およびこの工事説明書にしたがって工事してください。電源回路不良、容量不足や施工不備があると感電や火災の原因になります。
- 電源コードは、重いものを乗せたり、引張ったりしないでください。感電や発熱・火災の原因になります。
- 電源コードは、加工して途中で接続したり、他の電気器具とのタコ足配線をしたりしないでください。感電や発熱・火災の原因になります。
- ACアダプターを抜くときは、必ず本体を持って引抜いてください。コードを引張るとACアダプターやコードが爛んで、火災や感電の原因になります。
- ACアダプターの羽などに付いたほこりは定期的に除去し、根元まで確実に差込んでください。火災や感電の原因になります。ACアダプターを抜いて、乾いた布で拭いてください。

注意

- 配管工事は水道法、建築基準法、各都市の条例規定にしたがってください。
- 使用可能水圧の範囲であることを確認してください。使用可能水圧は0.1~0.75MPaです。
- 給水、給湯止水栓をしっかりと固定してください。
- ワークトップが大理石、人造大理石、ホーローなどのとき、無理に穴を開けようとすると、ワークトップが破損することがあります。
- 混合水栓は、6~30mmの厚みのワークトップに据付けてください。
- めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。めっきの表面が割れ、けがをすおそれがあります。
- シャワーフェイスの浄水出口は清潔を保つため、汚れた手で触らないでください。
- 止水栓取付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。点検できないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などをめらすおそれがあります。
- この浄水器カートリッジは寒冷地仕様ではありません。凍結のおそれがある場所では使用しないでください。
- 凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などをめらすおそれがあります。
- 給水・給湯止水栓以降、特に混合水栓には他の給水器具を接続しないでください。
- 台所で使われる洗剤、殺虫剤、防腐剤その他の薬品類はそれぞれの容器などに記載されている注意事項を必ずお守りください。使い方を誤ると、人体に悪影響をおよぼしたり浄水器、水栓、配管がたみ、水漏れや故障の原因となることがあります。
- 清掃には、洗剤やシンナー、ベンジンなどの有機洗剤は絶対に使用しないでください。浄水器カートリッジ、センサー部、クイックジョイント、電磁弁ユニットなどは樹脂部品を使用しています。有機溶剤が原因で樹脂部品が劣化・破損することがあります。※水栓が汚れたときは、取扱説明書の11ページのお手入れ方法を参照してください。
- センサー面を傷つけないようにしてください。器具が破損したり、誤作動したりするおそれがあります。
- めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。けがをすおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。
- 小型電気温水器(即湯器)などに給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管などを使用してください。高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などをめらすおそれがあります。

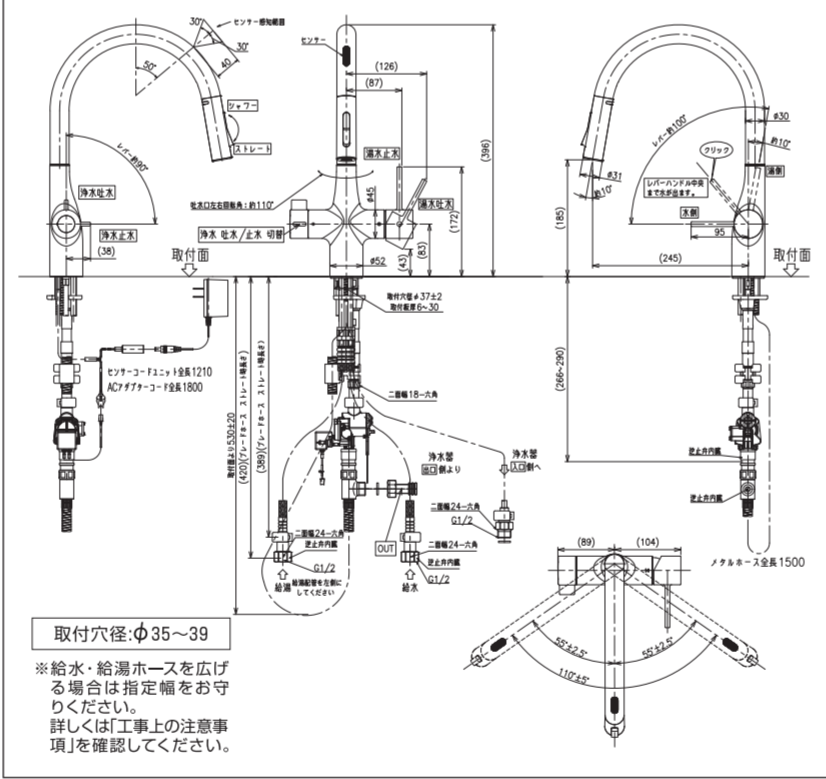
メイスイの浄水器+混合水栓 各部の名前



付属部品 「U字プラグ」について
 浄水器据付け後、実際にご使用されるまでの期間が長い場合は、浄水器カートリッジを清潔に保つため、取付工事の際、浄水器カートリッジの代わりに、「U字プラグ」を接続してください。

同梱部品

混合水栓



浄水器セット内容

- 浄水器カートリッジ…1個
- クイックジョイント付 ソフトフレキ…2本 (3mm×500mm(標準))
- 受皿…1個
- ソフトフレキ クイックジョイント
- パッキン…2個
- U字プラグ…1個
- 取説説明書(保証書付)…1部
- ご注意札…1個
- 工事説明書…1部
- MMSリーフレット…1葉

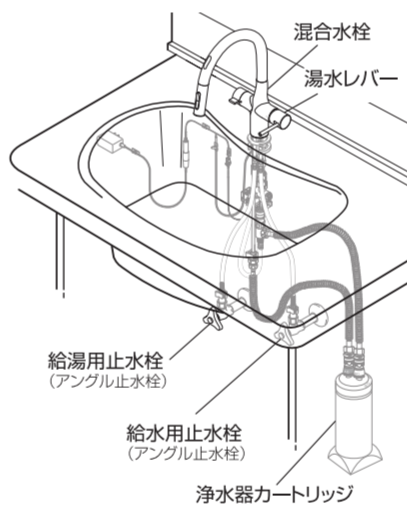
工事後のチェック

据付日 年 月 日

- ①水圧が0.75MPa以下になっていますか？
- ②同梱部品以外のものは使われていませんか？
- ③水漏れはありませんか？
- ④流量調節はできますか？
- ⑤工事完了後はハンドルレバーを閉じてください

完成図

ビルトイン浄水器設置の全体図です。各部の位置関係をお確かめのうえ、工事をしてください。



混合水栓の仕様と使用条件

使用電源	AC100V 50/60Hz
待機時	0.8W以下
消費電力	使用時 4W以下(ピーク時 8W以下)
使用流体	1~80℃の上水道(水結、ゴミなどの混入が無い事)
使用環境	温度 [一般地] 1~40℃ [寒地] 1~20℃~40℃ ただし内部の水を凍結させないでください
給水圧力	最低必要水圧：0.1MPa(動水圧) 最高水圧：0.75MPa(静水圧)
電源コード長さ	1.8m
感知距離	約40mm

- ①使用水圧(A=給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失)①給湯・給水圧力 最低必要水圧：A+0.1MPa(動水圧)、最高水圧：0.75MPa(静水圧)
- ②給水圧力は給湯圧力より高くするか、同じになるようにしてください。
- ③給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④給水圧力が0.75MPaを超えたと、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
- ⑥給湯器からの配管は最低流量で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦使用条件等を加味して適正な能力の給湯器を選び、適正な吐水量および吐水温度が得られ手動とあります。
- ⑧取付け後の流量調節や手動操作・保守点検のために、必ず止水栓を取付けてください。
- ⑨使い勝手や性能発露のため、流量調節をしてください。特に水圧が高い場合など、流量調節がされないで漏水・破損のおそれがあります。
- ⑩取付け後、手動操作や水抜き操作のため、必ず点検口を開けてください。
- ⑪万が一の危険防止のため、電源の一次側に1か所漏電遮断器を設置してください。
- ⑫電気工事は必ず電気工事に依頼してください。
- ⑬コンセントはACアダプターの定期的なお手入れが行えるような位置に設けてください。
- ⑭本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取付けなど)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑮過水検査をしますときの器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑯センサーの表面を傷つけないように十分注意してください。
- ⑰オンレターや赤外線を用いた機器により誤作動することがあります。
- ⑱直射日光が当たらないところに設置してください。

仕様

品名	浄水器	型式(Ge・1Z-FY3)
材料の種類	浄水器本体	ポリブチレンテレフタレート、ポリエチレン、ABS樹脂
	ホース	ステンレス鋼
	水栓	青銅、銅、ポリエチレン
ろ材の種類	活性炭(ヤシガラ)、不織布、中空糸膜、セラミック	
ろ過流量	4.0L/分	
使用可能な最小水圧	0.1MPa	
浄水能力	遊離残留塩素 (総ろ過水量 100,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 濁り (総ろ過水量 11,000L、ろ過流量50%、JIS S 3201に基づく試験結果) 総トリハロメタン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) CAT (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 溶解性鉛 (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 2-MIB (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) トリクロロエチレン (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) トリクロロエチレン (総ろ過水量 50,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) クロホルム (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) プロモジクロロメタン (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ジブモクロロメタン (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) プロモホルム (総ろ過水量 25,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) 陰イオン界面活性剤 (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) フェノール類 (総ろ過水量 15,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) ジェオスミン (総ろ過水量 20,000L、除去率80%、JIS S 3201に基づく試験結果) シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201 附属書A 試験結果) ベンゼン (総ろ過水量 11,000L、除去率80%、JIS S 3201 附属書A 試験結果)	
ろ材の取換時期の目安	12ヶ月(1日30L使用の場合で、浄水能力の短い物質を基準としてまとめた)	

使用上の注意

- 水道水の飲用基準に適合した水でご使用ください。
- 浄水器カートリッジは消耗品です。必ず定期的に変換してください。
- ろ材の取換時期の目安は、使用水量、水質、水圧によって異なります。
 - ・毎朝、ご使用前に10秒間以上放流してください。
 - ・2日以上お使いにならなかったときは、3分間以上放流してください。
 - ・水温35℃以下でご使用ください。
- 凍結の恐れのある場所に設置する場合は、内部を凍結させないようご注意ください。
- 水圧が0.75MPaより高いところは使わないでください。
- 浄水器や接続部に強い衝撃を与えないでください。水漏れの原因になります。

除去可能物質	PFOS及びPFOA 総ろ過水量 11,000L、除去率80%
	鉄(微粒子状) 除去率80%
	アルミニウム(中性) 除去率80%
	浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準(浄水器協会 JWPAS B.210)に基づく

- 浄水器カートリッジ重量(満水時):0.6kg(1.2kg)
- 浄水器カートリッジサイズ(直径×高さ):直径78mm×高さ285mm
- 硬水を軟水に変えることはできません。
- 遊離残留塩素0.1mg/L以上の水道水にのみお使いください。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

取付条件

混合水栓が破損し、やけどや家財などをめらすおそれがあります。	接続部がゆるんで水漏れが発生し家財などをめらすおそれがあります。	テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などをめらすおそれがあります。	給湯止水栓(アンクル止水栓)の取付場所を示す図
そのまま混合水栓を取付けて水を流すとゴミをこみこんで混合水栓から水漏れが発生し、家財などをめらすおそれがあります。	水を出そうとしても、湯が出てやけどをすおそれがあります。また浄水器カートリッジに湯が溜ると故障します。	湯・水の接続を逆にすると、水を出そうとしても、湯が出てやけどをすおそれがあります。	本体の位置に押しつける場合は、止水栓の位置がずれたり歪んだりすると、施工できなかったりホースが破損し漏水で家財などをめらすおそれがあります。

工事上の注意事項

- 必ず同梱の配管部品をお使いください。
- 吐水パイプを回転させるときなどに、シャワーヘッドに無理な衝撃や荷重をかけるしないでください。シャワーヘッドの付け根に無理な荷重がかかり、損傷して思わぬ漏水事故につながるおそれがあります。
- コードを加工(切断・巻き直し)しないでください。火災の原因になります。
- 開梱、取付時に製品にキズを付けないようにしてください。
- 配管の耐圧検査をおこなう際は、止水栓を閉じてください。(止水栓を開いたまま配管に高水圧を加えると水栓内部の圧力が壊れ高まり、水栓の破損や作動不良につながるおそれがあります。)
- 施工後、長期間ご使用にならない場合や、凍結のおそれがある場合は、シャワーホース内の水を抜いてください。
- 施工前に必ず取合の寸法を確認してください。
- 湯水の止水栓寸法Aは、200mm程度の範囲内で設定してください。取付穴より左右均等に施工してください。範囲外での施工は思わぬ作動不良や施工不良の原因になります。
- 水栓取付部からシンク下の底板(増板)までの距離が50mm以上ないと、ホース収納ができません(増板)とご使用ができません。使用上問題はありませんが、ホース収納性が悪くなります。
- 銅管を曲げる際は、根元から急激に曲げないでください。(止水栓を開いたまま配管に高水圧を加えると水栓内部の圧力が壊れ高まり、銅管が歪んだり破損したりして漏水で家財などをめらすおそれがあります。)
- 本体の取付位置について 取付位置によって排水口先端がシンクから飛び出す場合があります(施工例1)。(止水栓を開いたまま配管に高水圧を加えると水栓内部の圧力が壊れ高まり、正面位置をシンク内側へずらすと調整することは可能です(施工例2)。その際、排水パイプの左右中央位置もずらすのでご注意ください。位置関係は、給水・給湯ホースが取付けられる範囲にしてください。

- ①据付け後、長時間ご使用にならないときは、取扱説明書にしたがい給水・給湯用止水栓を閉じておいてください。
- ②お客様に次に示した対応をお願いいたします。
 - 取扱説明書にもついて浄水器の使い方、安全上のご注意について十分説明してください。
 - MMSカードを必ずご投函されるようにおすすめてください。
 - メイスイの専門技術者による定期的な浄水器カートリッジの交換をおすすめください。
 - この工事説明書はご依頼主にお渡しいたします。

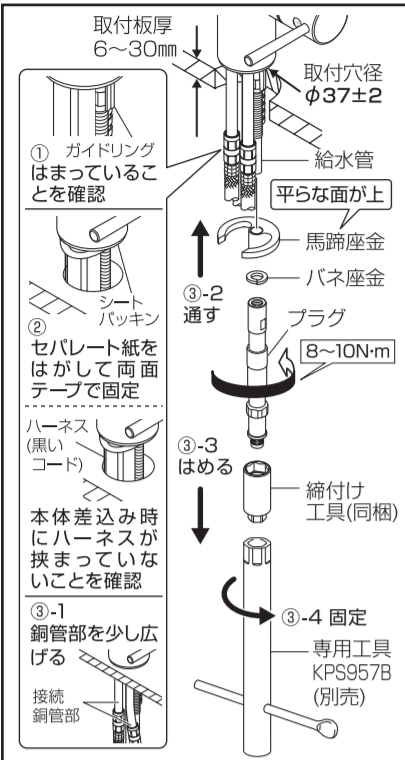
発売元 株式会社 メイスイ

●お問合わせは…
 本社 〒140-0013 東京都品川区南大井5丁目27-8
 TEL (03) 5753-2110

引渡し

施工手順

1 混合水栓本体の取付方法



注意
水圧点検

この浄水器の使用可能水圧は0.1~0.75MPa(1.0~7.6kgf/cm²)です。それより高い場合は水用減圧弁を取付けてください。

注意

器具を取付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い出してください。洗出しが不十分な場合、浄水器カートリッジが早く目詰まりすることがあります。また混合水栓のシール部を痛め水漏れの原因になることがあります。

1 混合水栓を設置する場所に取付穴を開けてください(穴径φ35~39mm)。

注意

ワークトップが大理石、人造大理石、ホーローなどのとき、無理に穴を開けようとすると、ワークトップが破損することがあります。

2 混合水栓は6~30mmの厚みのワークトップに据付けてください。30mmを超えるワークトップに取付けた場合、漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

3 混合水栓本体のセパレート紙をはがして(トップシールパッキンははずさない)、給水・給湯ホース先端を傷つけないように、給水ホースを後側にしてカウンターの穴に差し込んでください。

4 座金の穴に給水管を通し、座金を奥まで押込んでください。パナセ金を給水管に通し、プラグを締めて混合水栓本体を固定してください。締付トルクの目安は8~10N・mです。

注意

1 混合水栓本体を固定する前に、取付穴周囲の汚れを取除いてください。

2 混合水栓の浄水レバーが左になるよう固定してください。

3 プラグの締付けには、同梱の締付け工具と別売の専用工具(KPS957B)で確実に固定してください。

4 トップシールパッキンがずれたり取付穴に入り込まないようにしてください。トップシールパッキンが入り込んだまま施工すると、漏水し家財などをぬらすおそれがあります。

5 銅管部を少し広げて同梱のホースガイドAをプラグにはめ込みます。

注意

1 銅管部を曲げすぎないようにしてください。曲げすぎると銅管部がぶつれて亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

2 ジョイント金具にパッキンが付いていることを確認してから、給水、給湯止水栓にレンチなどでしっかりと締付けます。20N・mを目安に締付けてください。次に、銅管部を少し広げて、給水、給湯ホースをジョイント金具に奥までしっかりと差し込みます。

注意

1 給水・給湯ホースを広げる際はホースがつぶれないようにしてください。

2 給水・給湯ホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。

3 鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください(A図)。急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

4 上下戻り配管はやめてください(B図)。ウォーターハンマーなどでフレッドホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。

5 給水ホース、給湯ホース同士などへの不要な接触は避けてください。

注意

1 クイックファスナーは誤って取付くまで水もれを起こすおそれがあります。図を参考に、確実に取付けられていることを確認してください。

2 クイックファスナーで手を切るおそれがありますので、固定後は必ず保護キャップを取付けてください。

3 給湯ホースの赤丸シールを確認して逆配管にならないようご注意ください。

4 給水、給湯ホースおよび給水、給湯ホース上部の銅管は、無理に曲げないでください。水漏れを起こし、家財などをぬらすおそれがあります。フレッドホースを上から引張って、抜けないことを確認してください。しっかりと引っ張らないと漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

5 クイックファスナーは誤って取付くまで水もれを起こすおそれがあります。図を参考に、確実に取付けられていることを確認してください。

6 固定用のクイックファスナーを「バチッ」と音がするまではめ込み、抜け防止の保護キャップをクイックファスナーに取付けます。

注意

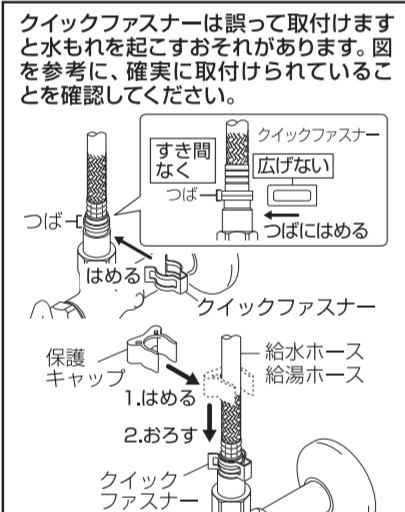
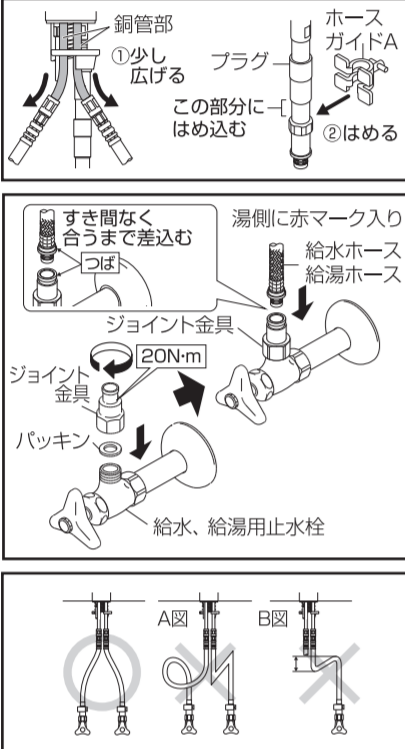
1 クイックファスナーで手を切るおそれがありますので、固定後は必ず保護キャップを取付けてください。

2 給湯ホースの赤丸シールを確認して逆配管にならないようご注意ください。

3 給水、給湯ホースおよび給水、給湯ホース上部の銅管は、無理に曲げないでください。水漏れを起こし、家財などをぬらすおそれがあります。フレッドホースを上から引張って、抜けないことを確認してください。しっかりと引っ張らないと漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

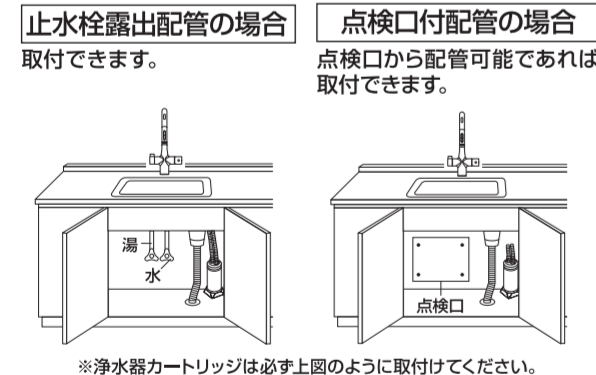
4 クイックファスナーは誤って取付くまで水もれを起こすおそれがあります。図を参考に、確実に取付けられていることを確認してください。

5 混合水栓に「ご注意札」を取付けてください。

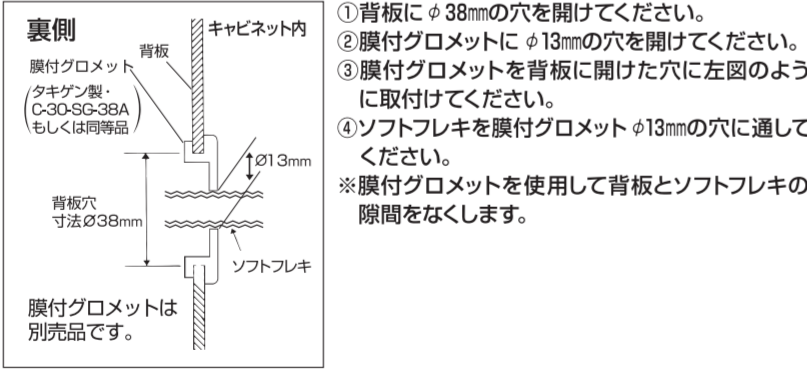


2 浄水器カートリッジの設置方法

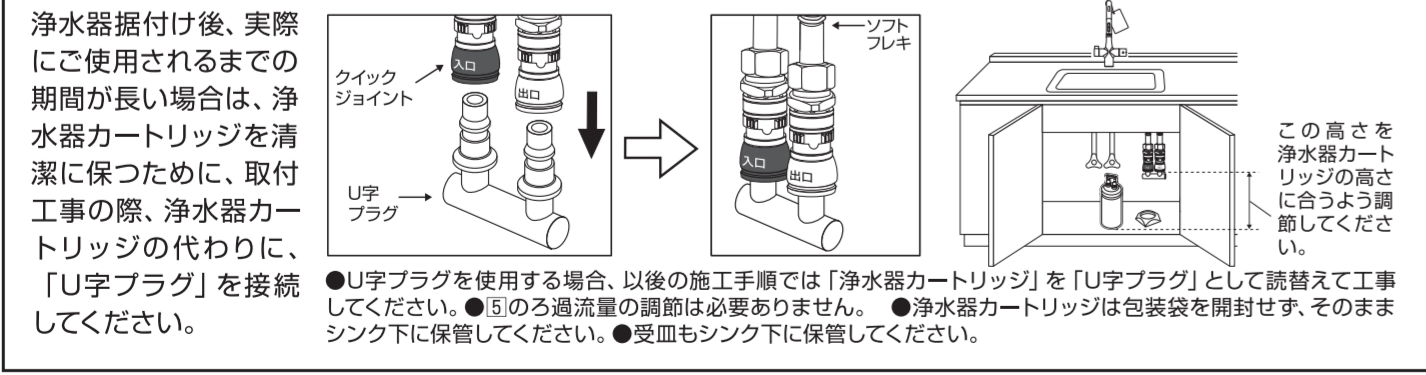
●施工できるキッチンタイプ



●点検口配管のときは...



U字プラグを使用する場合



3 浄水器カートリッジ受皿の据付

●受皿の底面まで浄水器カートリッジを確実に差し込んでください。そのとき浄水器カートリッジの出口側ノズルが右側になる(品名表示が正面になる)ようにしてください。



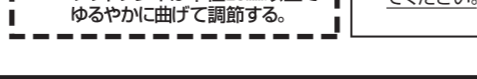
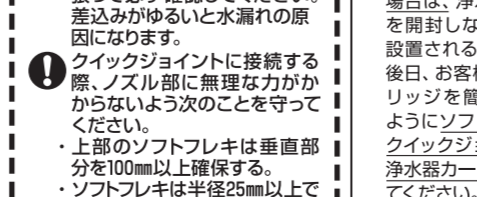
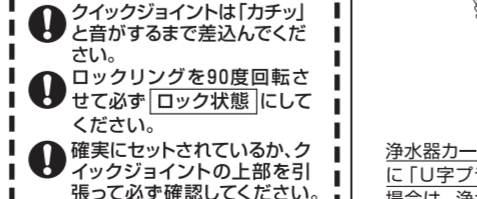
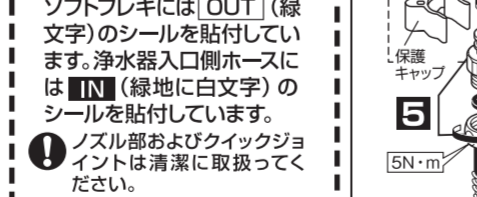
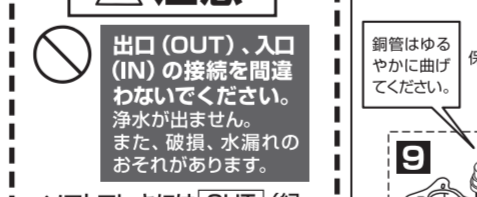
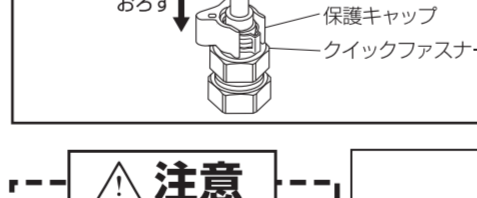
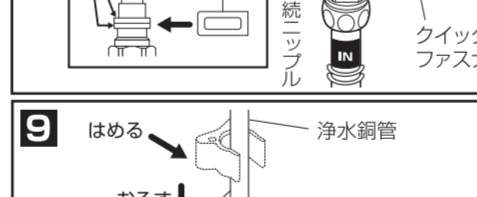
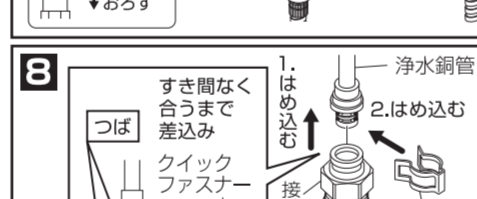
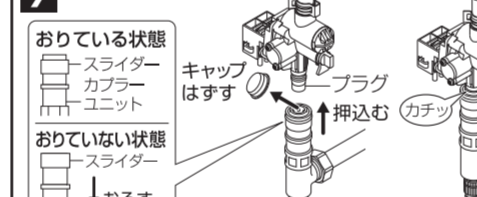
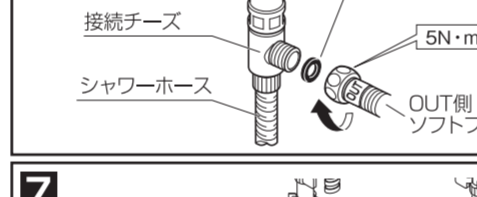
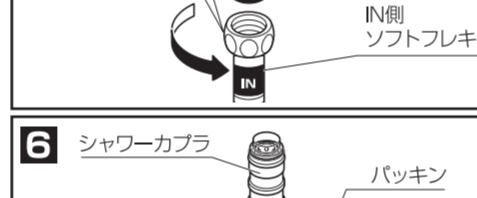
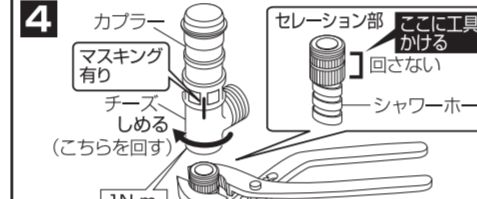
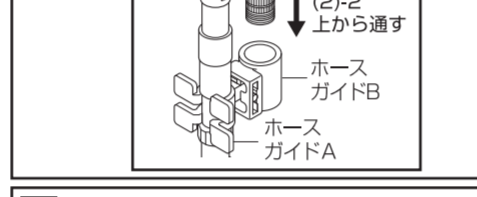
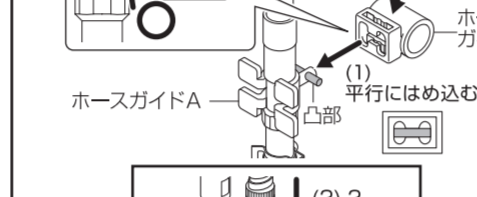
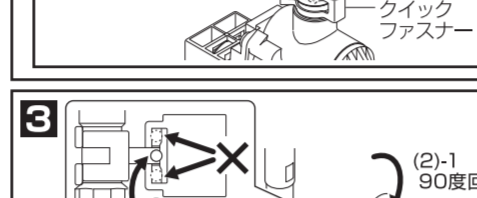
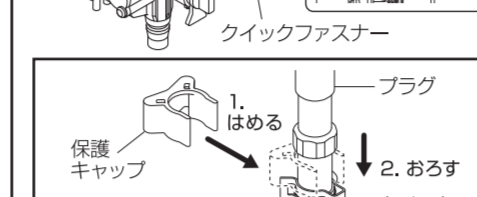
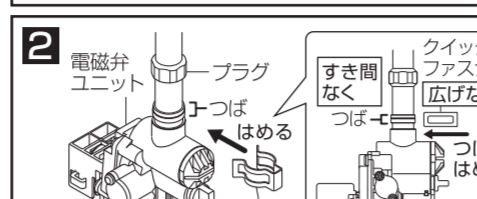
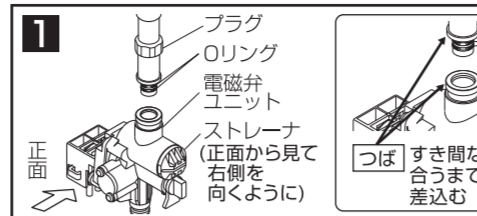
4 浄水器カートリッジの設置

●受皿にセットした浄水器カートリッジを流し台の床に据付けてください。この受皿はあくまでも転倒防止用です。浄水器カートリッジは満水の状態で1.2kgになります。



注意
付属のソフトフレキの長さは500mm(標準)です。この範囲で浄水器カートリッジを据付けてください。

3 配管接続方法



1 プラグのつぼと電磁弁ユニット(ストレーナが正面から見て右側を向くように)の先端がすき間なく合うまで差し込んでください。

注意

1 プラグの先端のOリングに傷つかないようにしてください。傷がつくと漏水のおそれがあります。

2 固定用のクイックファスナーも「バチッ」と音がするまではめ込み、抜け防止の保護キャップをクイックファスナーに取付けます。

注意

1 電磁弁取付け後、給水ホース、給湯ホースなどに接触してないことを確認してください。

2 電磁弁ユニットを持って下向きに引張り、抜けないことを確認してください。しっかりと引っ張らないと漏水して家財などをぬらすおそれがあります。

3 同梱のホースガイドBをホースガイドAの上部と平行になるように、ホースガイドAにはめ込みます。ホースガイドBを90度回転させ、シャワーホースを上から通します。

注意

1 固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。

2 B図のように、給水ホース、給湯ホースに引っかけて、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などをぬらすおそれがあります。

3 シャワーホース先端(真ちゅう部)をプライヤーなどで固定し、接続チース内部にOリングが取付けられていることを確認してください。

4 シャワーホース先端(真ちゅう部)をプライヤーなどで固定し、接続チースと接続してください。締付トルクの目安は1N・mです。

注意

1 シャワーホースに接続チースをねじ込む際、接続チース側を返し、シャワーホース側はねじらないでください。吐水量が少ない場合はシャワーホースがねじれているか、接続チースにゴミが詰まっている場合があるので、一度は必ずご確認ください。

2 IN側表示のソフトフレキの袋ナットにパッキンを挟み、接続ニッブルに取付け十分に締付けてください。

3 OUT側表示のソフトフレキの袋ナットにパッキンを挟み、接続チースに取付け十分に締付けてください。

※5 6の締付トルクの目安は5N・mです(付属のゴムパッキンを使用の場合)。

注意

1 袋ナットを締付けるときは、スパナ2本を使い、接続ねじを片方のスパナで十分支えて締付けてください。この時、パッキンが取付けられていることを必ず確認してください。

2 接続チースのシャワーカブラ部のキャップをはずし、電磁弁ユニット本体のプラグヘスライダーを下げた状態で、カチッと音がするまで押込み接続してください。

注意

1 シャワーホースは止水栓に引掛かれないよう、給水・給湯パイプの後側を通してください。

2 接続後はシャワーカブラ部を持って下向きに引張り、確実に接続されていることを確認してください。

3 浄水鋼管に接続ニッブルをはめ込み、クイックファスナーを双方のつぼに引掛けるようにして差し込んで固定してください。

注意

1 シャワーカブラ、接続ニッブルおよび浄水鋼管接続箇所にゴミなど異物が付着していないことを確認してください。異物が付着していると水漏れの原因になります。

2 接続後は接続ニッブルを持って下向きに引張り、確実に接続されていることを確認してください。

3 クイックファスナーが抜けないように保護キャップをかぶせてください。

4 浄水器カートリッジの出口表示側ノズルに、出口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

5 浄水器カートリッジの入口表示側ノズルに、入口表示のクイックジョイントを「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

注意

1 出口(OUT)、入口(IN)の接続を間違わないでください。浄水が流出せず、また、破損、水漏れのおそれがあります。

2 ソフトフレキには「OUT」(緑文字)のシールを貼付しています。浄水器入口側ホースには「IN」(緑地に白文字)のシールを貼付しています。

3 ノズルおよびクイックジョイントは清潔に取扱ってください。クイックジョイントは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

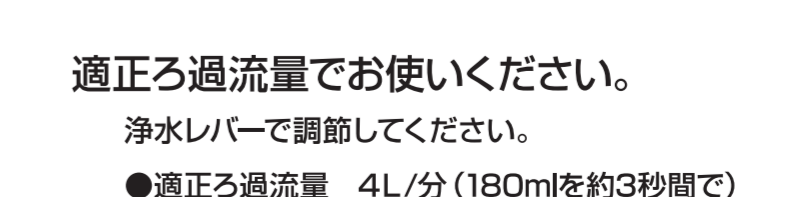
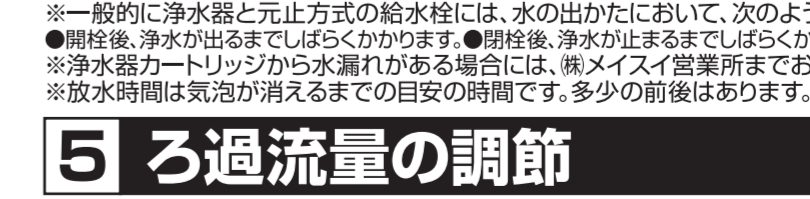
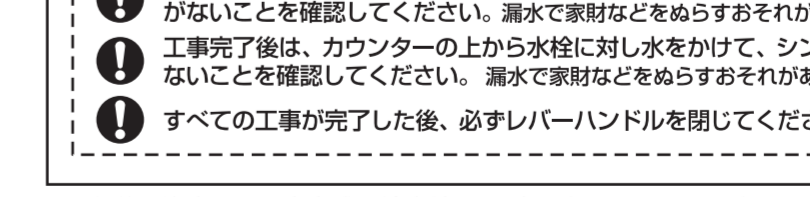
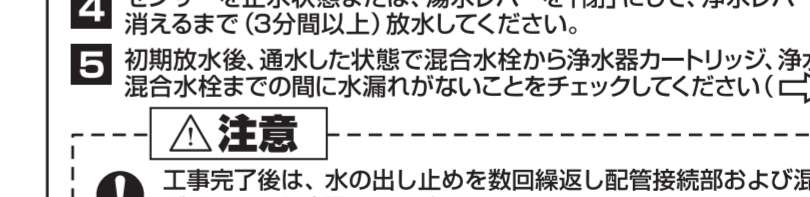
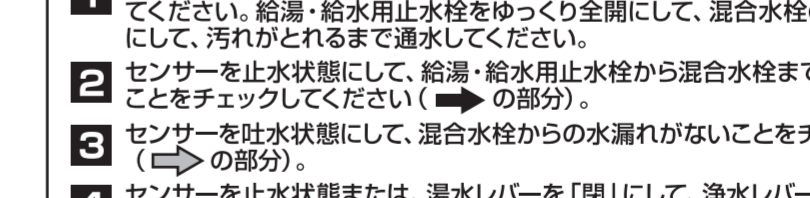
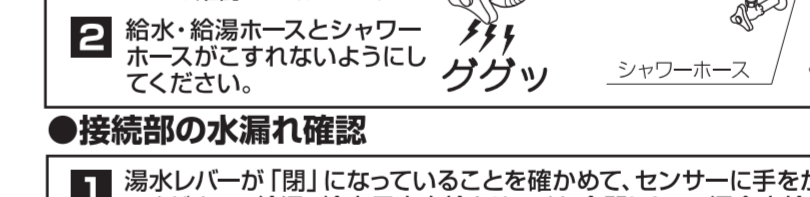
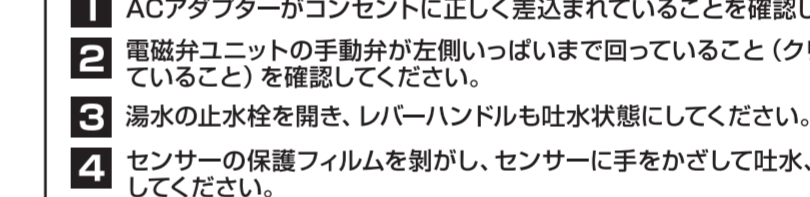
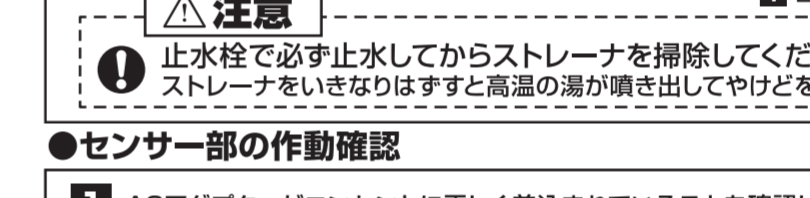
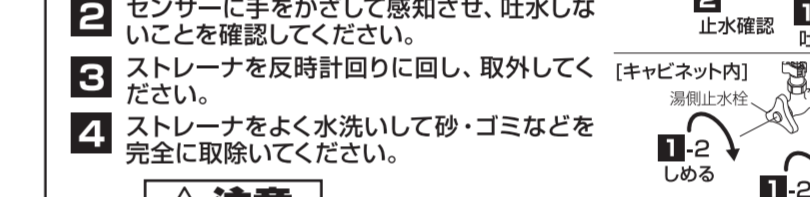
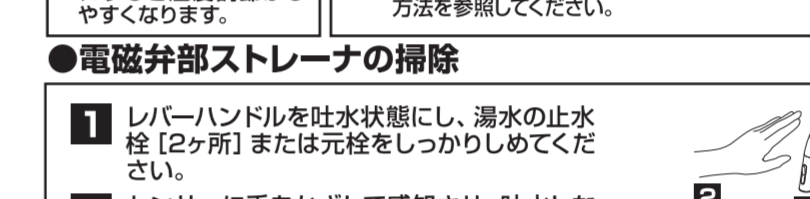
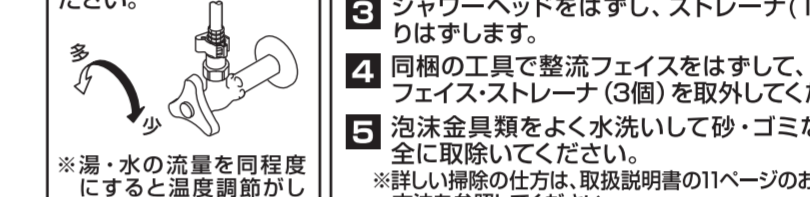
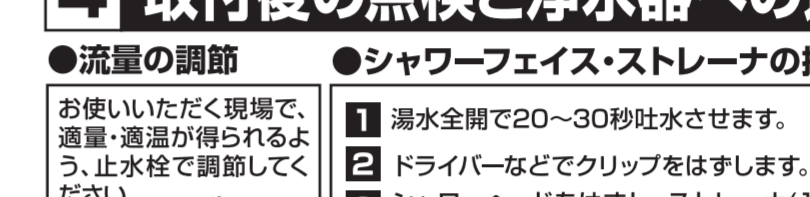
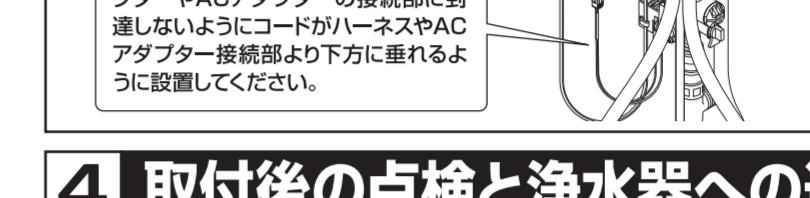
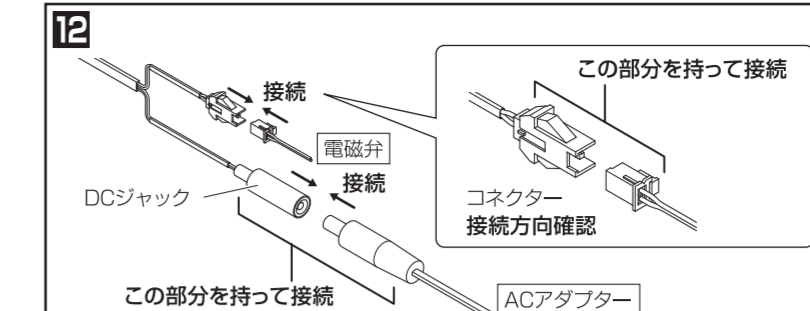
4 ロックリングを90度回転させて必ずロック状態にしてください。

5 確実にセットされているか、クイックジョイントの上部を引張って必ず確認してください。差込みがゆるいと水漏れの原因になります。

6 クイックジョイントに接続する際、ノズル部に無理な力が加わらないようご注意ください。ソフトフレキは半径25mm以上でゆるやかに曲げて調整してください。

7 浄水器カートリッジの代わりに「U字プラグ」を接続する場合は、浄水器カートリッジを密封しない状態で実際に設置される位置に仮置きし、後日、お客様が浄水器カートリッジを簡単に接続できるようにソフトフレキを曲げて、クイックジョイントの位置を浄水器カートリッジに合わせてください。

※あらかじめクイックジョイントをロック状態にしても取付けは可能です。



12 電磁弁ユニットのコネクターとDCジャックをそれぞれ接続してください。

注意

1 各接続部は確実に差し込み、ねじったり引張ったりしないでください。接続部および配線部が断線するおそれがあります。

16 キャビネットの背板にワイヤーステッカーを取付けてください。ワイヤーステッカーでハーネスや電源コードを壁に固定してください。ワイヤーステッカーは5個同梱していますので、必要に応じて固定してください。

注意

1 コード類と給水ホース、給湯ホース、シャワーホースなどが接触したり絡んだりしないようにしてください。発火・ショート・感電の原因になります。

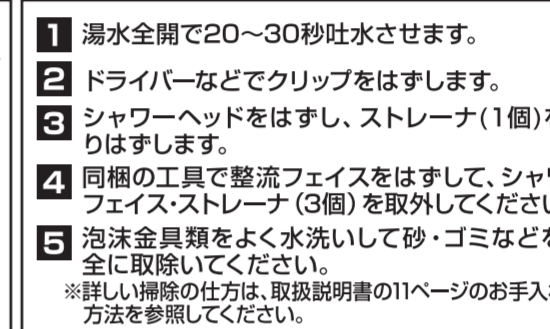
14 ACアダプターをコンセントに差し込んでください。この製品はAC90V~AC110Vの範囲でお使いください。専用コンセントの容量は15A以上必要です。

4 取付後の点検と浄水器への通水・水漏れチェック

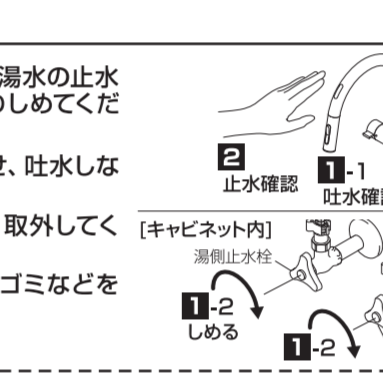
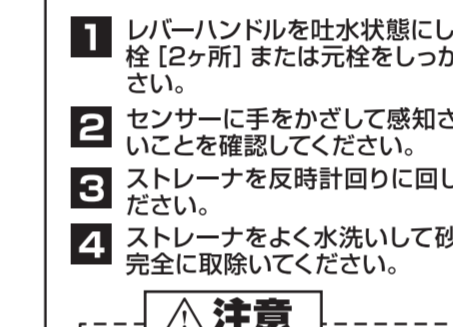
●流量の調節



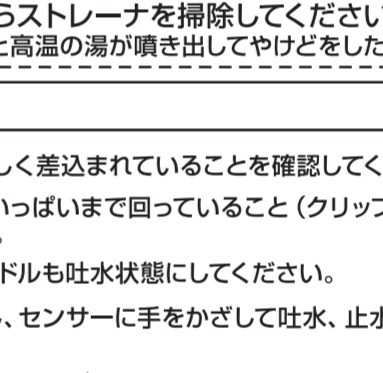
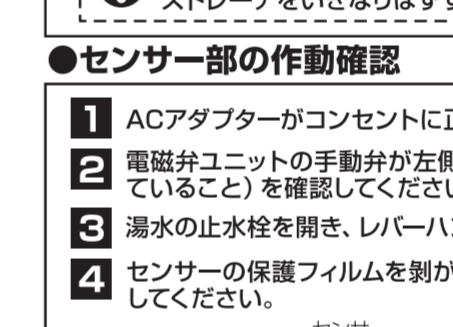
●シャワーフェイス・ストレーナの掃除



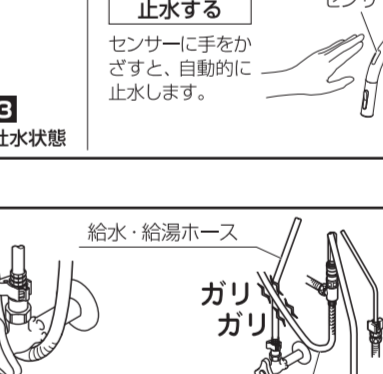
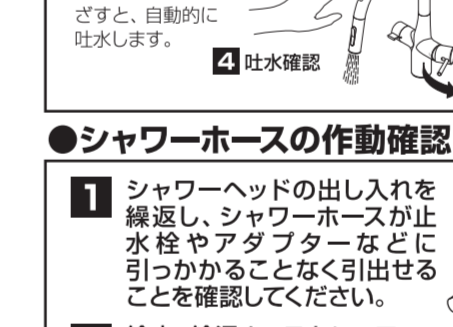
●電磁弁部ストレーナの掃除



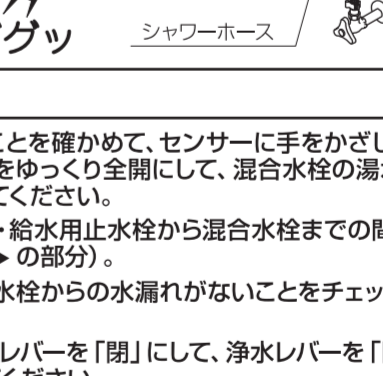
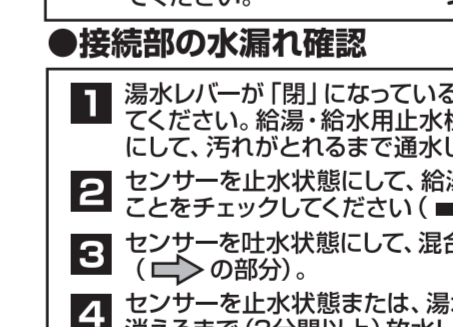
●センサー部の作動確認



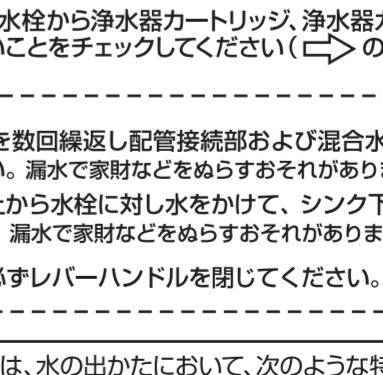
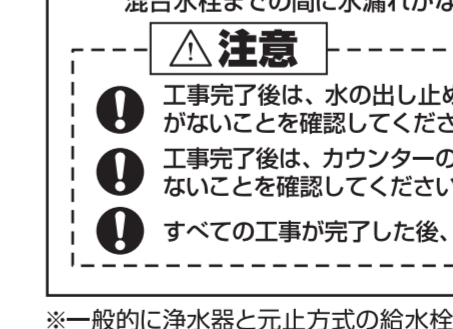
●シャワーホースの作動確認



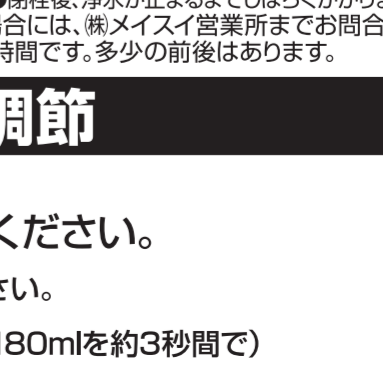
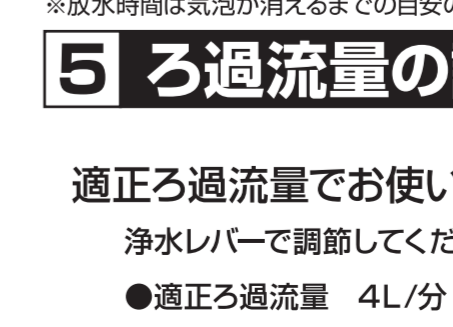
●接続部の水漏れ確認



●ろ過流量の調節



●ろ過流量の調節



●工事中にお気付きの点がありましたら、(株)メイスイ営業所までご連絡ください。